

地域計画

策定年月日	令和 年 月 日
更新年月日	- ( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	知名町(46534)
地域名 (地域内農業集落名)	知名地区 (知名)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	67.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	67.2 ha
② 田の面積	ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	67.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	18.2 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	9.2 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

担い手農家や規模拡大を志向する農業者も一定数確保されており、地域の営農環境は維持されている。しかしながら、農業従事者並びに若い世代の農業者は減少傾向にあるため、新規就農者等の新たな経営体を確保・育成しつつ、地域住民などを交え、地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が課題である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地域農業の持続的発展・維持を図るため、農地の効率的な集積、受託組織・受託農家育成による受委託連携等に取り組み、「話し合い」による農業者間の連携を促進するとともに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営を行う経営体の育成・確保に取り組む。また当地域では、さとうきび、バレイショ、花き、畜産などを主要作物としているが、将来的には亜熱帯果樹の栽培も検討している。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者)への農地の集積・集約化を基本とし、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	34 %	将来の目標とする集積率	44 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農地の売りたい・貸したい等の要望が出た際に、営農地の近い担い手への集積と集約を推進する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手への農地の集積、集約化を図るため農地中間管理機構を活用する。今後は、高齢化等により離農する農業者から担い手への集積がスムーズに図られるよう地域で話し合いを実施していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域の農地の貸し借りは農地中間管理機構の活用を促進し、担い手の経営意向に沿った農地の集積・集約化を段階的に図っていく。将来的には、担い手の効率的な営農につながる経営農地の集約化を目指す。
(3)基盤整備事業への取組
機械が入り、耕作しやすい農地へ整備し、担い手への集積が進むよう基盤整備、区画整理を検討する必要がある。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
既存の担い手に農地を集積・集約し、地域の農地を守りながら、新規就農者の育成や複合経営による経営の安定化を図り、後継者の育成を進めていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
さとうきびハーベスタ組合による収穫やドローン事業等、今まで通り農作業の一部または全部を委託することで、農作業の効率化を図り、農業経営を維持できる体制を作る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ②有機肥料を積極的に活用し、安定した作物の生産を目指す。
- ③スマート農業の導入により、農作業の負担軽減や効率的な農業経営の実現を目指す。
- ⑦水土里サークルを活用し、地域全体で農地の保全・管理を行う。
- ⑧資材の高騰が著しいので、補助事業を活用して農業用施設(ハウス)の導入を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計		0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha	

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
	別紙のとおり		

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)							
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考			
1	利用者	FCI	さとうきび	0.64	ha	ha	さとうきび	0.64	ha	ha	FCI	
2	利用者	CIE	さとうきび	0.95	ha	ha	さとうきび	0.95	ha	ha	CIE	
3	利用者	FCM	馬鈴薯	0.07	ha	ha	馬鈴薯	0.07	ha	ha	FCM	
4	利用者	CEG	馬鈴薯	1.19	ha	ha	馬鈴薯	1.19	ha	ha	CEG	
5	認農	CGC	さとうきび	0.61	ha	ha	さとうきび	0.61	ha	ha	CGC	
6	認農	CEF	馬鈴薯・さとうきび・花き	3.40	ha	ha	さとうきび	3.40	ha	ha	CEF	
7	利用者	BKV	さとうきび	0.12	ha	ha	さとうきび	0.12	ha	ha	BKV	
8	利用者	EYV	馬鈴薯	0.37	ha	ha	馬鈴薯	0.37	ha	ha	EYV	
9	認農	CDV	馬鈴薯・花き	2.94	ha	ha	馬鈴薯・花き	2.94	ha	ha	CDV	
10	到達	AWR	馬鈴薯	0.58	ha	ha	馬鈴薯	0.58	ha	ha	AWR	
11	認農	CGD	馬鈴薯	0.28	ha	ha	馬鈴薯	0.28	ha	ha	CGD	
12	利用者	CDZ	馬鈴薯	1.16	ha	ha	馬鈴薯	1.16	ha	ha	CDZ	
13	利用者	CDP	馬鈴薯	0.31	ha	ha	馬鈴薯	0.31	ha	ha	CDP	
14	利用者	ALG	馬鈴薯・さとうきび	0.71	ha	ha	馬鈴薯・さとうきび	0.71	ha	ha	ALG	
15	利用者	FEL	馬鈴薯	0.33	ha	ha	馬鈴薯	0.33	ha	ha	FEL	
16	利用者	EBR	さとうきび	0.04	ha	ha	さとうきび	0.04	ha	ha	EBR	
17	認農	CDS	馬鈴薯	0.96	ha	ha	馬鈴薯	0.96	ha	ha	CDS	
18	利用者	CEQ	馬鈴薯・さとうきび	1.64	ha	ha	馬鈴薯・さとうきび	1.64	ha	ha	CEQ	
19	到達	CFJ	馬鈴薯	0.14	ha	ha	馬鈴薯	0.14	ha	ha	CFJ	
20	利用者	CDX	馬鈴薯・さとうきび	0.72	ha	ha	馬鈴薯・さとうきび	0.72	ha	ha	CDX	
21	利用者	EZN	馬鈴薯	0.30	ha	ha	馬鈴薯	0.30	ha	ha	EZN	
22	認農	EYW	馬鈴薯・さとうきび	2.67	ha	ha	馬鈴薯・さとうきび	2.67	ha	ha	EYW	
23	利用者	EED	果樹	0.26	ha	ha	果樹	0.26	ha	ha	EED	
24	利用者	FDT	馬鈴薯	0.05	ha	ha	馬鈴薯	0.05	ha	ha	FDT	
25	利用者	FIN	馬鈴薯	0.19	ha	ha	馬鈴薯	0.19	ha	ha	FIN	
26	認農	AWC	花き	0.51	ha	ha	花き・馬鈴薯	0.51	ha	ha	AWC	
27	認農	CED	花き・さとうきび	2.05	ha	ha	花き・さとうきび	2.05	ha	ha	CED	
28	利用者	CEO	さとうきび	0.32	ha	ha	さとうきび	0.32	ha	ha	CEO	
29	利用者	ERH	馬鈴薯	0.65	ha	ha	馬鈴薯	0.65	ha	ha	ERH	
30	認農	AKO	馬鈴薯・さとうきび	0.46	ha	ha	馬鈴薯・さとうきび	0.46	ha	ha	AKO	
31	利用者	AJR	野菜	0.31	ha	ha	野菜	0.31	ha	ha	AJR	
32	認就	EZC	花き・さとうきび	0.98	ha	ha	花き・さとうきび	0.98	ha	ha	EZC	
33	認農	CBV	花き・さとうきび	1.11	ha	ha	花き・さとうきび	1.11	ha	ha	CBV	
34	利用者	FHU	馬鈴薯	0.29	ha	ha	馬鈴薯	0.29	ha	ha	FHU	
35	利用者	FEI	さとうきび	1.08	ha	ha	さとうきび	1.08	ha	ha	FEI	
36	利用者	FDI	馬鈴薯	0.34	ha	ha	馬鈴薯	0.34	ha	ha	FDI	
37	利用者	AMF	馬鈴薯	0.36	ha	ha	馬鈴薯	0.36	ha	ha	AMF	
38	利用者	FHV	馬鈴薯	0.24	ha	ha	馬鈴薯	0.24	ha	ha	FHV	
39	利用者	BYB	花き・馬鈴薯	0.89	ha	ha	花き・馬鈴薯	0.89	ha	ha	BYB	
40	認農	BZP	花き・馬鈴薯	1.68	ha	ha	花き・馬鈴薯	1.68	ha	ha	BZP	
41	利用者	FCK	馬鈴薯	1.49	ha	ha	馬鈴薯	1.49	ha	ha	FCK	
42	認農	CFZ	馬鈴薯・さとうきび	1.46	ha	ha	馬鈴薯・さとうきび	1.46	ha	ha	CFZ	
43	利用者	AJB	馬鈴薯・さとうきび	0.06	ha	ha	馬鈴薯・さとうきび	0.06	ha	ha	AJB	
44	利用者	CFD	さとうきび・馬鈴薯	1.20	ha	ha	さとうきび・馬鈴薯	1.20	ha	ha	CFD	
45	利用者	CBU	畜産	0.79	ha	ha	畜産	0.79	ha	ha	CBU	
46	利用者	EXO	馬鈴薯	0.08	ha	ha	馬鈴薯	0.08	ha	ha	EXO	
47	利用者	CEI	馬鈴薯	1.37	ha	ha	馬鈴薯	1.37	ha	ha	CEI	
48	利用者	CFO	馬鈴薯	0.71	ha	ha	馬鈴薯	0.71	ha	ha	CFO	
49	利用者	CEV	馬鈴薯	0.23	ha	ha	馬鈴薯	0.23	ha	ha	CEV	
50	利用者	AZE	さとうきび	0.14	ha	ha	さとうきび	0.14	ha	ha	AZE	
51	認農	AKR	馬鈴薯	0.62	ha	ha	馬鈴薯	0.62	ha	ha	AKR	
52	認農	ARF	馬鈴薯・豆類	0.80	ha	ha	馬鈴薯・豆類	0.80	ha	ha	ARF	
53	到達	CDI	馬鈴薯	0.59	ha	ha	馬鈴薯	0.59	ha	ha	CDI	
54	利用者	EUH	馬鈴薯	0.29	ha	ha	馬鈴薯	0.29	ha	ha	EUH	
55	認農	EQW	さとうきび・馬鈴薯	0.96	ha	ha	さとうきび・馬鈴薯	0.96	ha	ha	EQW	
56	利用者	AOC	馬鈴薯	0.18	ha	ha	馬鈴薯	0.18	ha	ha	AOC	
57	利用者	CEL	馬鈴薯	0.31	ha	ha	馬鈴薯	0.31	ha	ha	CEL	
58	利用者	AQH	馬鈴薯	0.38	ha	ha	馬鈴薯	0.38	ha	ha	AQH	
59	利用者	CEC	馬鈴薯・さとうきび	0.46	ha	ha	馬鈴薯・さとうきび	0.46	ha	ha	CEC	
	計	59経営体		44.03	ha	0	ha	44.03	ha	0	ha	

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

	番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	1		各種農作業	特定なし
2	2		各種農作業	特定なし
3	3		消毒	バレイショ
4	4		除草、消毒	特定なし
5	5		収穫	サトウキビ
6	6		収穫	サトウキビ
7	7		収穫	サトウキビ
8	8		収穫	サトウキビ
9	9		収穫	サトウキビ
10	10		収穫	サトウキビ
11	11		収穫	サトウキビ
12	12		収穫	サトウキビ
13	13		収穫	サトウキビ
14	14		収穫	サトウキビ
15	15		収穫	サトウキビ
16	16		収穫	サトウキビ
17	17		収穫	サトウキビ
18	18		収穫	サトウキビ
19	19		収穫	サトウキビ
20	20		収穫	サトウキビ
21	21		収穫	サトウキビ
22	22		収穫	サトウキビ
23	23		収穫	サトウキビ
24	24		収穫	サトウキビ
25	25		収穫	サトウキビ
26	26		収穫	サトウキビ
27	27		収穫	サトウキビ
28	28		収穫	サトウキビ
29	29		収穫	サトウキビ
30	30		収穫	サトウキビ
31	31		収穫	サトウキビ
32	32		収穫	サトウキビ
33	33		収穫	サトウキビ
34	34		収穫	サトウキビ
35	35		収穫	サトウキビ
36	36		収穫	サトウキビ
37	37		収穫	サトウキビ
38	38		収穫	サトウキビ
39	39		収穫	サトウキビ

(参考) 目標地図凡例

【水色】	・・・	70歳未満の農家や70歳以上でも後継者が内定しており10年後においても持続的な利用が見込まれる農地。→機能性を維持して利用の最適化を推進。
【黄色】	・・・	70歳以上で後継者が定かでない、将来耕作者が不在となる恐れがある農地。→次世代農家への計画的な引継ぎを推進。
【桃色】	・・・	軽度の遊休農地。→解消して再利用を推進。
【緑色】	・・・	農地としての利用には適さず、粗放的管理地として存置の意向のある農地。→ゾーニング化して環境保全を推進。
【赤色】	・・・	既に転用されているか、もしくは農地としての機能を失っている農地。→転用申請/非農地申請・非農地判断。
【白色】	・・・	不明・調査中